

第4回秋田市マイタウン・バス南部線 雄和地域運行協議会議事要旨

開催の日時 平成23年2月19日(土) 午前10時～11時40分

開催の場所 秋田市雄和地域活動センター 多目的ホール

委員数 16名

出席委員 9名

議 事 運行内容について

事務局 1 開会
会長欠席のため、議事の進行を会長代理にお願いします。
2 議事

会長 挨拶
議事に入る。運行内容について、事務局から説明願う。

事務局 (資料に沿って説明)

会長 前回持ち帰りとなった案件だが、委員から事務局案のほかに提案はないか。
なければ協議に入る。ご意見をお願いします。

委員 C案だが、枝線の乗客を四ツ小屋駅まで乗せるのか。雄和市民センターまででよくないか。

事務局 その点も議論していただきたい。

委員 効率的に運行するために予約式にするのであれば、市民センターまででよいのではないか。

会長 アンケート結果では乗り継ぎの不満があった。その点から考慮するとどうか。

委 員	乗継ぎの不便さと乗車時間の短縮が課題だったが、資料から枝線の利用者数は少ない。効率性を考えると、直近の幹線のバス停か、市民センターまでのどちらかだろう。
事 務 局	資料2に路線バスのコースも付加している。現在協議中で便数等も確定していないが、市民センター～秋田駅西口までの運行を計画している。実現すれば、そちらの利便性も向上するので、そこも踏まえて議論していただきたい。
委 員	秋田駅に行くにも、1回は市民センターで乗りつぎすることになる。
事 務 局	市民センター以北の方は乗継ぎがなくなるので、利便性は上がる。
委 員	選択肢が広がるので、よいことだ。
委 員	ユーグル時代のサービスを低下させないという考えで、現在の運行形態にしたと思う。やはり効率性を考えれば、予約式で車両も小型化するのはよい案だと思う。
会 長	経費的なものはどうか。
委 員	毎日空バスを走らせるよりはよいのでは。
事 務 局	試算したが、タクシー車両の借り上げは、あまり経費削減にならない。 車両をもう1台確保するのと変わらない。
委 員	河辺では予約式をやってるようだが、どうか。
委 員	月に150～160人利用してもらっている。土日は利用が少ないが、先日は平日で1日で20人の予約があった。
委 員	利用者はだいたい決まっているのではないか。
委 員	ほぼ決まっている。

委員	<p>提案だが、C案を基本として、例えばBコースでは、平尾鳥入口で幹線に乗り継ぎとし、藤森から時刻表を設定すれば、予約は必要だが折返しの電話を待つ必要はなくなる。また、幹線の車両が到着するまで接続するバス停で枝線の車両内で待ってもらえば、乗り継ぎの待ち時間はなくなる。</p> <p>また、藤森～館ヶ沢間も出羽グリーンロードを利用し、山王堂～戸米川小学校に抜ければ周回コースとなる。</p> <p>奇数便はAコース、偶数便はBコースに合わせるようにすれば、効率良く運行でき、1台の車両で対応可能だと思う。</p> <p>四ツ小屋から新都市交通広場、日赤病院へ向かう便を1台専用とし、四ツ小屋駅で乗り換えとなるが、スポーツゾーンや加藤病院への要望もあることから、河辺コースと共用すれば、利便性が上がるのではないか。</p>
委員	アンケート等の要望を叶えるには、A案は除外してよいと思う。
委員	雄和中学校のスクールバスも走っているが、女米木地区(白川)の生徒は乗ることができないので、その子達も利用できるようなダイヤを設定すればよいのではないか。
委員	大仙市の協和地区では、路線バスで通学していると聞く。そのようにすれば、マイタウン・バスの利用が増えるはず。
事務局	<p>その点は教育委員会とも協議・検討を続けている。しかし、通学の時間帯と四ツ小屋駅でのJRとの接続の時間帯がほぼ同じため、両方を叶えることはできない。大仙市の例では、通学の時間帯はJRとの接続は考慮していないのではないか。</p> <p>また、奇数便はAコース、偶数便はBコースという方法だと、利用したい時間帯に乗られない人が出てくるという新たなデメリットも発生する。</p>
委員	両方を合わせるとすれば2台必要になる。
事務局	そうなると経費削減にはならない。
委員	曜日運行にすれば利用は制限される。予約式にすれば、時間帯での不便さはあるが、毎日運行できる。

委員	四ツ小屋駅からJRを利用する学生もいるだろうが、それも考慮しなければならないのではないか。
委員	学生の利用者はほとんどいない。
委員	朝は通勤、通院がほとんど。 枝線の利用者は、通院のための利用者が多い。
委員	曜日でわかるか、1日の中でわかるかのどちらかだと思う。
事務局	曜日運行にすれば、通勤・通学では利用できなくなる。
委員	そうするとC案がよいと思う。
委員	時間帯別の乗車人数を調べることもできる。 ただし、Bコースの大正寺以南の萱ヶ沢、中ノ沢まで予約式の対象にしてしまうと、1台では対応できないので、現状通りがよいと思う。
委員	今回の案で決まりなのか。今後新たな要望があった場合、変更は可能か。これで決まりとなると、責任が重い。
事務局	マイタウン・バスは地域に密着したもので、利用者の意見は反映させたい。これがベストという方法を決めるのは難しいと思うし、より良くするために今後も協議していきたい。
委員	もし路線バスが運行されれば、さらに利便性は向上する。今回の予約式も含めて、前へ進んだのではないか。
事務局	幹線での乗り継ぎ場所を幹線と枝線の分岐点とし、車両から車両へ乗り継がせるとしたが、冬期間の安全面はどうか。今年のように雪が積もった道路上での乗降は危険ではないか。一般の車両の妨げにはならないか。
委員	平尾鳥入口も椿川も待合所がある。乗り継ぎがなくてもバスが遅れば10分でも20分でも待つわけだから、一旦待合所に

		降ろしてもらった方がいいのではないか。
委 員	員	夏の暑い中、冬の寒い中を待たせたくないという配慮だと思う。
委 員	員	予約式で不便をかけるので、できることはしたい。
事 務 局	局	では、車両から車両に乗り継ぐのではなく、無線等で確認し、なるべく待ち時間を少なくするというイメージでよいか。
会 長	長	乗り継ぎ場所等の細部については、事務局と運行事業者で詰めてもらいたい。
委 員	員	路線バスがあった時は、市民センターで行事等があった際に特発等を出してもらったが、マイタウン・バスでも可能か。
委 員	員	時刻表の中で、台数を増やすことは可能。
事 務 局	局	普段利用する事のない人にそういった時に利用してもらい、良さをわかってもらって少しでも利用者が増やせればよい。
会 長	長	幹線（太線）と枝線（細い線）の確認だが、資料2のままでよいか。
事 務 局	局	先ほど、中ノ沢を予約式にすると1台では難しいという意見があった。他にも枝線部分が増えればもう1台増やしての対応となるが、現状では中ノ沢は幹線扱いにして今までどおり曜日運行となる。
会 長	長	枝線が増えれば、予約しなければならなくなる対象も増える。
委 員	員	大正寺以南は今までどおり幹線でよい。
事 務 局	局	沖村は枝線のままでよいか。
委 員	員	安養寺や黒瀬、湯野目の周回コースから離れているため、幹線扱いとしたほうが運行上は効率がよい。

会	長	それ以外は図のままでよいか。	
委	員	一同	(異議なし)
会	長	以上で本日の議事は終了する。	
事	務	局	今日の結果を踏まえて事務局で検討し、3月下旬か4月上旬には次回の協議会を開催したい。
		—協議会終了—	